

# VISION 2030 <長期ビジョン> ESG経営を中心に据え、2030年の業容倍増を目指す

長期ビジョン「Vision 2030」では、イノベーションを起こし続けることにより、「サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え“未来につづく安心”を創造していく」という強い意志を込めたビジョンステートメント「Innovation for the Earth」を掲げています。レジデンシャル(住まい)、アド

バンスライフライン(社会インフラ)、イノベティブモビリティ(エレキ/移動体)、ライフサイエンス(健康・医療)の4事業領域を設定し、「ESG経営を中心においた革新と創造」を戦略の軸に、現有事業の拡大と新領域への挑戦を通じて2030年に業容倍増を目指します。

## Innovation for the Earth

サステナブルな社会の実現に向けて、  
LIFEの基盤を支え、“未来につづく”安心を創造します。



ビジョン  
ステートメント

売上2兆円

営業利益率10%以上

ESG経営を中心においた革新と創造



ターゲット



戦略の方向性

レジデンシャル  
(住まい)

アドバンス  
ライフライン  
(社会インフラ)

イノベティブ  
モビリティ  
(エレキ/移動体)

ライフ  
サイエンス  
(健康・医療)



ドメイン

ネクストフロンティア

加工・先取り変革

一人ひとりの挑戦

企業統治

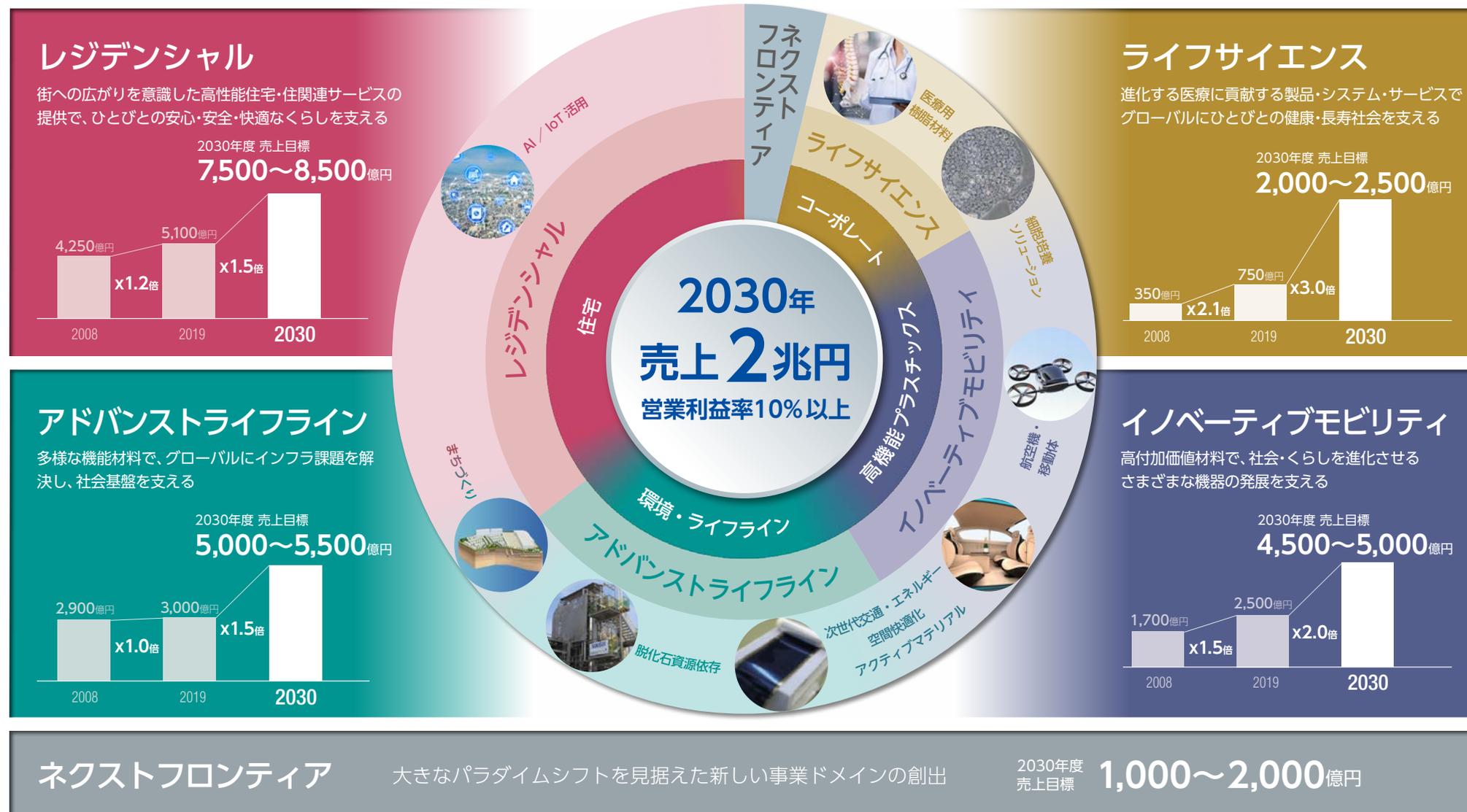


ケーパビリティ

# ドメイン別成長イメージと目指す事業構造

2030年に業容倍増となる売上高2兆円という大きな目標に向けて、レジデンシャル(住まい)、アドバンスライフライン(社会インフラ)、インバーティブモビリティ(エレキ/移動体)、ライフサイエンス(健康・医療)の各ドメインでは、売上を1.5~3倍に成長させ、多様な成長エンジンを有する魅力的で

存在感ある企業へと変革していきます。加えて、各ドメインで、コア技術の延長線上でイノベーションに挑戦することで、新事業を創出し、大きなパラダイムシフトを見据えた新しい事業ドメイン・ネクストフロンティアの創出も図っていきます。



# サステナブルな貢献拡大に向けた考え方と、2030年までの成長イメージ

積水化学グループでは、社会課題解決への貢献に取り組むことは、社会の持続性向上に直結しており、貢献の対価である売上高は、社会課題解決への貢献の量であると考えています。そしてその貢献の質を向上させることで当社グループの持続的な利益ある成長を図ることができ、またそのことで、お客様、株主、従業員、取引先、地域社会・地球環境といったすべてのステークホルダーへの貢献をさらに拡大していくことができます。

さらに注力!



持続経営力とは

【効率性】

- 生産性や効率性を高め、経営資源を無駄なく活かすこと。

【長期持続性(経営基盤の盤石化)】

- 安全・コンプライアンス・品質の徹底により中長期的リスクを回避すること。
- 持続的成長に向けて経営基盤へ投資し、各種の長期的な資本コストを低減すること。

## 経営資源の積極投入

長期ビジョンで目指す業容の増大は、既存の延長線上では難しく、指数関数的な成長があって初めて実現可能な水準です。積水化学グループでは2030年の業容倍増に向け、経営資源を積極的に投入していきます。新規投資の実行においては、財務の健全性やリターンの確度向上に留意しつつも、2030年までの10年間で総額2兆円を超える投資を想定しています。国内での成長で1兆円の到達を目指す一方、海外においてもこれまでの成長スピードを落とすことなくフロンティア開拓を加速し、現在の3倍超の1兆円規模へと拡大を図っていきます。

## 長期ビジョン

海外でのフロンティア開拓を加速し、2030年度は国内売上1兆円、海外売上1兆円規模に拡大する

### 中期計画

1st

ESG経営本格化による経営盤石化と次なる成長への仕込み加速

FY2020 FY21 FY22

2nd

既存延長上ではない指数関数的な成長への仕掛けが必要

営業利益率  
10%以上

FY2030

2兆円

海外  
1兆円

国内  
1兆円

業容倍増に向け、経営資源を積極投入する

成長投資・研究開発費  
(20~30年累計)  
総額2兆円超を想定

2兆円超

中期計画では積極的成長を目指し、M&A投資の最大枠を設定

782億円  
1,870億円  
1,129億円

中期計画  
(FY2017~2019)

3,000億円  
2,000億円  
1,300億円

中期計画  
(FY2020~2022)

M&A等  
財務の健全性を保持した積極投資

設備投資  
(戦略+通常)  
1兆円

DX投資(設備投資の内数)

研究開発費  
6,000億円

VISION 2030